

開発協力適正会議（臨時開催）

※前回会議（第40回：6月開催）にて告知のとおり書面（メール）にて実施

議題：インド「マディヤ・プラデシュ州地方給水計画協力準備調査」（有償）、「ナグプール市ナグ川浄化計画協力準備調査」（有償）、「メガラヤ州持続的コミュニティ森林管理計画協力準備調査」（有償）

（道傳委員からのコメント）

インドへの支援は日印関係の文脈のみならず、アジア・欧州・アフリカへと、中国の「一帯一路」計画が展開され中国の影響力が増す中でも重要性が増しています。日本とアメリカが掲げる Indo Pacific Policy にモディ首相自身が賛同するインドの、今日の日本外交にとっての戦略的な位置づけについてお聞かせ下さい。

（回答）

- インドは、民主主義や人権、法の支配といった基本的価値を共有するインド太平洋地域の主要国の一つであり、首脳の年次相互訪問に代表されるように、両国の関係強化が着実に進んでいるとともに、アジアとアフリカという2つの大陸をつなぐインド洋に面し、我が国にとって重要なシーレーンの中央に位置することから、日本が掲げる「自由で開かれたインド太平洋戦略」の鍵となる国です。委員ご指摘のとおり、同国への支援は、戦略的観点からも非常に重要であると言えます。他方、我が国のインドへの支援は以上のような考えに基づいて実施しているものであり、特定の国や何らかの構想への対抗として行っているものではありません。
- なお、「一帯一路」については、インフラの開放性、透明性、経済性、対象国の財政の健全性といった国際社会の共通の考え方を十分に取り入れることで、地域と世界の平和と繁栄に前向きに貢献していくことを期待しています。